

# 鉄道沿いの斜面崩壊を未然に防止し、交通機能を確保する (福岡県田川市)

事業者：平成筑豊鉄道株式会社



対策前

落石発生(令和2年3月)



対策後

コンクリート吹付による法面固定

糸田線の対策箇所では  
大雨による被害発生なし

## 対策名：58-2 豪雨による鉄道隣接斜面の崩壊対策

主たる施策グループ：5-5) 太平洋ベルト地帯の幹線道路や新幹線が分断するなど、基幹的陸海上航空交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響



## 事業名：平成筑豊鉄道における法面固定事業

- ポイント**
- コンクリート吹付による法面固定を実施
  - 鉄道隣接斜面の崩壊を防止し、鉄道の安全・安定的な運行を確保

### 地域の概要・課題

平成筑豊鉄道（田川線、伊田線、糸田線）は地域の通勤や通学、また観光の足等としても重要な役割を果たしています。

当該地域では過去に大雨で土砂流入、落石などの被害を受けたことから、災害対策を強化し、鉄道の安全で安定的な運行を確保する必要性がありました。

### 事業の概要

糸田線に隣接する斜面にコンクリート吹付による法面固定を実施しました。



### 効果

令和5年6月下旬から7月上旬にかけて九州北部地方で線状降水帯が発生しました。平成筑豊鉄道の田川線では大雨のため線路陥没や切取崩壊の被害が発生しましたが、過去に落石が発生したため法面固定対策を実施した糸田線の対象箇所では、線路への土砂流入被害は発生せず、交通機能を維持できました。

対策未実施だった田川線の一部区間では大雨による被害が発生【令和5年6月30日～7月1日】(総雨量301mm)



線路陥没

切取崩壊

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
(1) 人命・財産の被害を防止し、最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
デジタル化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化  
伝達の高高度化の推進